

昭和六一年度 岳連総会

六月十五日(日) 四時から群馬県自治会館にて六一年度県岳連盟総会が開催された。

星野会長の議長で、六一年度事業報告、新年度事業計画、決算報告、新年度予算案等が承認された。

六〇年度事業報告

〇総務部

岳連総会の開催、常任理事会・理事会の開催(計一回)、関東地区岳連連絡協議会の参加。「群馬の山」を紹介する本の発行準備。中島副会長の叙勲授賞祝賀会の開催(六一年二月一日(土)於厚生年金会館)。上毛スポーツ賞に沼田山岳会(山田昇、K2、エベレスト、マナスルを無酸素で登頂)が授賞。群馬県スポーツ賞顕彰に沼田山岳会(山田昇)の授賞。群馬県体育協会(桑原体育賞)に沼田山岳会(山田昇)の授賞。群馬県体育協会(桑原体育賞)に個人でエベレスト登頂の八木原(明ミヤマ)、名塚秀一(前橋)、三枝照雄(沼田)、佐藤光由(ミヤマ)。団体で桐生山岳会女子インドヒマラヤメントーサ登山隊(森下緑、木村文江、下田美和子、小林江江)が授賞した。

〇編纂部

嶺邑二五二二八号の発刊

〇国体部

県予選会を四月一三、十四日に榛名山で開催した。国体関東地区大会山岳競技を七月二六、二七日に武蔵山で主管した。成年女子が二位で本番の出場権を獲得した。第四〇回国体山岳競技の参加(鳥取県)。群馬県選手団、成年男子監督水野金太郎(沼田山岳会)、選手、原沢幸雄(群馬むすびの会)、後藤文明(境町山の会)、中西和弘(伊勢崎山岳会)、補欠、弥野光一(群馬ミヤマ山岳会)。成年女子、監督、高田政美、選手、藤本好子、泉沢明江、串戸和子(以上群馬登山会)。

〇海外登山部

四月一〇日(水) アンナフルナ岳連関係者による海外登山参加者。日本ヒマラヤ協会中国黄河源流探検隊に八木原、佐藤が参加。日本ヒマラヤ協会K2登山隊参加(山田、細貝、山田昇が七月二四日に東南麓から無酸素で登頂に成功した。映画「植村直己物語」ロケ隊に参加、八木原、名塚、三枝、佐藤、宮崎、山田、小林、齊藤。各会の交流。

〇指導部
五月五日(水) 指導委員会総会、体協会館
五月二五日(土) 指導員研修会、土合
五月二六日(日) 雪上技術講習会、谷川岳マチガ沢
六月九日(日) 岩川岳マチガ沢
八月二日(日) 山岳会女子インドヒマラヤメントーサ登山隊、森下、木村、下田、小林が八月二日に全員登頂に成功した。カモシカ同人マナスル登山隊、山田、齊藤、二月一四日、アルパイン・スタイルで北東麓から無酸素で冬期初登頂に成功。
二月三、四日に第二四回山協海外登山技術研究会が八王子大学セミナーハウスで開催され、岳連より一人参加した。

七月七日(日) 訓練、谷川岳マチガ沢及び一の倉沢。一〇月二三日(日) 訓練、榛名山黒岩。二月一日(火) 冬山合宿検討会、体協会館。
六一年一月二〇日(月) 冬山合宿報告会、体協会館
三月九日(日) 訓練、武蔵山高山山から剣ヶ峰付近。一月六日登高会、女子雪水クラブ、富岡労山の合同パーティー(群馬ミヤマ山岳会)。成年女子が鹿島槍ヶ岳より帰りが遅くなり現地へ向かう。谷川岳を中心にパトロールを実施した。

〇海外登山部

四月一〇日(水) アンナフルナ岳連関係者による海外登山参加者。日本ヒマラヤ協会中国黄河源流探検隊に八木原、佐藤が参加。日本ヒマラヤ協会K2登山隊参加(山田、細貝、山田昇が七月二四日に東南麓から無酸素で登頂に成功した。映画「植村直己物語」ロケ隊に参加、八木原、名塚、三枝、佐藤、宮崎、山田、小林、齊藤。各会の交流。

〇海外登山部

六月一年度事業計画
一、遭難防止活動
谷川岳を中心とした地域の遭難防止のためのパトロールの実施、救助活動及び救助隊の技術の向上のための訓練を行う。

二、国体への参加と選手強化
山梨国体への参加と選手強化を目的とし、好成績を目標とする。

三、日山協主催行事等への参加と各会の交流。
日山協行事等への参加をすることにも、各会との交流を深め、研修会等を通じて技術の向上、岳人としてのモラルの高揚を図る。

四、美化運動等市民運動への参加
美化運動等の推進に協力する。

五、岳連会報の発行
嶺邑の発行を通じ、会員の結びつきと啓蒙を図る。

六、海外登山
一九八七年、一九八八年冬期ヒマラヤ遠征計画の準備を推進する。
七、各種研修会及び講習会の開催
岳連より一人参加した。

昭和61年度行事一覧表

日	総務	遭難	対策	指導員	海外	国体
4	理事会(9)	春・夏遭難対策研修会(8) 新隊員訓練、榛名山黒岩(13)			海外登山技術研究会 総会(15)	日山協国体委員総会(13) 関東地区大会代表者会議(13) 県予選会(26~27)
5	県体協理事長会議(13) 理事会(14) 県民スポーツ祭(18) 日山協総会、理事会(25)	一般対象救助講習会、 谷川岳(25)		指導員総会、体協会館(13) 雪上技術講習会、マチガ沢(25)		
6	理事会・総会(15)	日山協遭難対策委員会14-15 長野県山岳総合センター		登山技術講習会、黒岩(8) 日山協指導員総会(8)		関東地区大会審判員会議
7	谷川岳安全登山の日(6) 理事会(9)	隊員訓練、谷川岳(6)				関東地区大会(25~27) 千葉県
8	尾瀬ゴミ持帰り(2~3) 理事会(13)			読図講習会、体協会館(20)		
9	理事会(10)			ロック・フェスティバル、 小川山(7)		

昭和60年度収支決算書

(収入の部)				(支出の部)			
科目	予算額	補正	収入済額	科目	予算額	補正	支出済額
事業費	337,666	0	337,666	事業費	3,492,000	△ 9,792	3,482,208
会費	520,000	△ 42,800	477,200	会議費	70,000	△ 39,150	30,850
未収金	226,000	△ 112,000	114,000	事務費	55,000	49,782	104,782
交付金	2,909,000	16,380	2,925,380	旅費	80,000	3,600	83,600
補助金	5,000	△ 5,000	0	負担金	149,000	△ 7,000	142,000
入金	0	743,790	743,790	予備費	204,000	△ 154,000	50,000
雑収入	52,334	382	52,716	計	4,050,000	△ 156,560	3,893,440
計	4,050,000	600,752	4,650,752				

第41回国体県予選報告

大沢 清

四月二六日(土)一日
 標名山系において、標記の競技会が行われた。成年男子、成年女子は申込みがなく、少年男子(四校十三名)、少年女子(二校四名)の参加で実施された。

二六日、午前十時に開会式のと、水沢寺(水沢山)上ノ原林道(二ツ岳)、というコースで特区分A(水沢寺)水沢山頂、B(上ノ原林道)二ツ岳山頂、と設けて縦走競技が行われ、十六時にヤセオネ峠にて天気図審査、装備審査、計画審査がなされ、標名山総合合戦教育キャンプ場で幕営をした。

- 第四位 福島亮一(伊工)二五八
 第五位 木暮雅一(洪工)二五八
 第六位 川崎均(伊工)二六六
 △少年女子 縦走競技
- 第一位 中井知代(吾高)二六六
 第二位 湯本文子(〃)二六六
 第三位 野村ゆかり(〃)二六六
 第四位 劍持真美(〃)二六六

- 第一位 中井知代(吾高)二六六
 第二位 劍持真美(〃)二六六
 第三位 野村ゆかり(〃)二六六
 第四位 湯本文子(〃)二六六

指導委員会総会報告

指導委員会総会が去る、五月十三日、体協会館で行われました。

六〇年度の行事報告を始め、決算報告と役員改選が行われ、その後行事予定及び予算案等について討議が行われました。

六一年度の役員については次の通りです。

- 第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 福島亮一(伊工)二六六
 第四位 角田勝美(洪工)二六六
- 第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 角田勝美(洪工)二六六
 第四位 角田勝美(洪工)二六六
- 第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 角田勝美(洪工)二六六
 第四位 角田勝美(洪工)二六六

- 第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 角田勝美(洪工)二六六
- 第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 角田勝美(洪工)二六六

尚、指導委員会の今後の活動については、若く動ける指導員の養成と、一般対象の講習会を主体に活動を続ける事で総会を終わりました。又、去る五月二十五日指導委員会では、谷川岳マチが沢大滝上部に於いて、雪上技術講習会を開催しました。当日は遭対部の救助隊も来冬に再起する事が決定され、次の目標の冬期エベレスト計画と合わせ、登攀力アップを最大目標に準備に入りました。

来冬は、大変良かったと思えます。これからは、各山岳会のリーダーが多く参加して新しい技術の習得と各会の交流を図って行き、楽しい講習会として行きたいと思えます。(文責 竹山)

海外登山総会報告

昨年度の岳連会員による海外での記録も目まざましいものがあつた。黄河源流探険(佐藤、八木原)、K2(山田、細貝、山田無酸素登山)、メントーサ(森下、木村、下田、小林の桐生四女性の全員登山)、植村直巳物語エベレスト(影(宮崎)、山田、名塚、三枝、佐藤、小林、斎藤、八木原のうち五名登山。山田無酸素登山)、マナスル(山田、斎藤の冬期無酸素登山)

ルバインスタイル登山である。特筆すべきは山田昇のスリーシーズン連続無酸素登山であり、斎藤安平との二名のみで冬期完壁アルパインスタイル登山も登山界へ大きな一石を投じた。桐生の女性四名全員登山も賞賛に値する。

本年度も中国三隊、アータン一隊、パキスタン二隊、ネパール一隊、他に松井田のアラスカ計画。岳連による冬期アンナプルナ南壁計画も来冬に再起する事が決定され、次の目標の冬期エベレスト計画と合わせ、登攀力アップを最大目標に準備に入りました。

第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 角田勝美(洪工)二六六

指導員更新手続きの事務を行っている。集まり悪い。編集 嶺呂二九号完成

〇総務 群馬岳友会及び群馬大岳部は三月一杯で退会しました。

〇団体 四月三日(日)団体委員総会あり。水野、太田出席予定。

〇その他 四月の人事移動で、吉田茂作氏は東京物産観光事務所長。富山真氏は県林務部長室に。太田忠行氏は前橋地検に異動。高体連登山部委員長が倅田氏から村上泰賢氏(標名高)へうつる。

昭和一一年五月四日 九時、体協会館

参加者 小林、石井、田中、川辺、女屋、倅田、羽野、竹山、大沢、西山、八木原、宮崎、富山、笠原、寺内、阿久沢、望月

〇編集 二五二八号まで発行。本年度から倅田にかわり、羽野をチーフとして新編集部となる。

〇遭対 五月二五日マチガ沢で芝ゾリを中心とした撤出法訓練。

〇指導 五月二五日、マチガ沢で雪上生活技術訓練。六月八日に黒岩で岩登り講習会を行った。

理事会報告

昭和一一年四月九日 九時、体協会館

参加者 田中、太田、富山、八木原、石川、川辺、竹山、須田、原、西山、羽野、大沢、長谷川、高田、加藤、村上、吉田

〇遭対 四月八日(火)体協会館で、事故対策講習会開催 二八名

自然保護指導員制度について、各会から適任者をえらんで、会長推薦の型をとりたい。

〇総務 総会は六月五日(日)、自治会館で行う。一四時から。

〇その他 群馬中高山岳会会長に望月新吉氏。高崎市井野町四七〇二七三六一一五九六一

〇館林山岳会の連絡先変更 館林市成島三二四五四 八木橋長 平方〇二七六一七三〇九三八

〇高体連登山部の連絡先変更 群馬郡標名町下室田九三三 標名馬郡標名町下室田九三三 標名高校内 村上泰賢氏付 〇二七三二七四一〇五三

第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 角田勝美(洪工)二六六

自然保護指導員制度について、各会から適任者をえらんで、会長推薦の型をとりたい。

〇総務 総会は六月五日(日)、自治会館で行う。一四時から。

〇その他 群馬中高山岳会会長に望月新吉氏。高崎市井野町四七〇二七三六一一五九六一

〇館林山岳会の連絡先変更 館林市成島三二四五四 八木橋長 平方〇二七六一七三〇九三八

〇高体連登山部の連絡先変更 群馬郡標名町下室田九三三 標名馬郡標名町下室田九三三 標名高校内 村上泰賢氏付 〇二七三二七四一〇五三

昭和一一年五月四日 九時、体協会館

参加者 小林、石井、田中、川辺、女屋、倅田、羽野、竹山、大沢、西山、八木原、宮崎、富山、笠原、寺内、阿久沢、望月

〇編集 二五二八号まで発行。本年度から倅田にかわり、羽野をチーフとして新編集部となる。

〇遭対 五月二五日マチガ沢で芝ゾリを中心とした撤出法訓練。

〇指導 五月二五日、マチガ沢で雪上生活技術訓練。六月八日に黒岩で岩登り講習会を行った。

訂正とおわび

嶺呂二九号事務連絡で、会費未納団体のうち、群馬青空山岳会と東邦車船は、納入済みでした。また未納団体の中之条山岳会、中之条山岳会の中之条山岳会、東邦車船、青空及び中之条山岳会に、大変御迷惑をおかけしました。

昭和一一年七月九日(火) 九時、体協会館

参加者 石井、田中、樋口、太田、女屋、竹山、八木原、望月、西山、須田、長谷川、月岡、阿久沢、大沢、水野、大井、倅田、羽野、富山、川辺、村上、高田

〇編集 一面執筆依頼者の原稿が出来ず、急提竹山さんに依頼した。発刊は八月にのびる。

〇団体 強化訓練中。

〇自然 七月六日谷川山びらきに参加、午前二、三〇からP・R

〇その他 遭対、海外、総務から諸報告あり。

〇新理事体制 理事長 田中成幸、副理事長 太田忠行、樋口宗平、常任理事とその分担については次号。

第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 角田勝美(洪工)二六六

自然保護指導員制度について、各会から適任者をえらんで、会長推薦の型をとりたい。

〇総務 総会は六月五日(日)、自治会館で行う。一四時から。

〇その他 群馬中高山岳会会長に望月新吉氏。高崎市井野町四七〇二七三六一一五九六一

〇館林山岳会の連絡先変更 館林市成島三二四五四 八木橋長 平方〇二七六一七三〇九三八

〇高体連登山部の連絡先変更 群馬郡標名町下室田九三三 標名馬郡標名町下室田九三三 標名高校内 村上泰賢氏付 〇二七三二七四一〇五三

昭和一一年五月四日 九時、体協会館

参加者 小林、石井、田中、川辺、女屋、倅田、羽野、竹山、大沢、西山、八木原、宮崎、富山、笠原、寺内、阿久沢、望月

〇編集 二五二八号まで発行。本年度から倅田にかわり、羽野をチーフとして新編集部となる。

〇遭対 五月二五日マチガ沢で芝ゾリを中心とした撤出法訓練。

〇指導 五月二五日、マチガ沢で雪上生活技術訓練。六月八日に黒岩で岩登り講習会を行った。

編集後記

やっと三〇号にたどりつきました。次号からは新編集部体制で継続していきます。乞御期待!

第一位 星野諭生(桐工)二六六
 第二位 橋本晃彦(伊工)二六六
 第三位 角田勝美(洪工)二六六